



Cisco IOS NetFlow 機能のロードマップ

このロードマップには、『Cisco IOS NetFlow コンフィギュレーションガイド』に記載されている機能のリストが示されています。このロードマップは、ソフトウェア リリースおよび該当するソフトウェア リリースで使用できる機能で構成されています。機能については、「参照先」欄のリンクをクリックして、該当する機能に関する情報が含まれるマニュアルを表示してください。

多くのレガシー機能はコンフィギュレーション ファイルに組み込まれ、このロードマップには記載されていないものもあります。また、このロードマップの情報は、他のソフトウェア リリースまたはプラットフォームをサポートしません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。

機能とリリース サポート

表 1 に、次の Cisco IOS ソフトウェア リリースでサポートされている Cisco IOS NetFlow 機能を示します。

- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.0S」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2S」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SB」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SR」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SX」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2T、12.3、12.3T、12.4、12.4T、および 15.0M」
- 「Cisco IOS XE ソフトウェア Release」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2ZY」
- 「Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SY」

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、フィーチャセット、またはプラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注)

表 1 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース トレインの中で特定の機能のサポートが導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけを示します。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースでもサポートされます。

表 1 には、最初に各ソフトウェア群の最新のリリースを示し、そのリリースに含まれる機能をアルファベット順に示してあります。

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能

リリース	機能名	機能の説明	参照先
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.0S			
12.0(26)S 12.0(25)S 12.0(24)S	MPLS 認識 NetFlow	Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) 認識 NetFlow は、NetFlow アカウンティングの拡張機能であり、Cisco ルータに関する非常に細かいトラフィック統計情報を示します。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow と同様に統計情報がフロー単位で収集されます。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow バージョン 9 エクスポート フォーマットが使用されます。	『 Configuring MPLS-aware NetFlow 』
12.0(26)S	NetFlow BGP ネクストホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダーゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクストホップ単位でネットワークトラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクストホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクストホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データエクスポートに BGP ネクストホップ情報が追加されます。	『 Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis 』
12.0(11)S	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクスマスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクスマスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスクサイズを設定できます。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』
12.0(19)S	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.0(22)S	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.0(15)S	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポートデータのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポートデータの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポートデータが要約されます。その結果、NetFlow エクスポートデータの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.0(24)S	NetFlow v9 エクスポート フォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコードタイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.0(26)S	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ処理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。Packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2S			
12.2(18)S	NetFlow BGP ネクスト ホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクスト ホップ単位でネットワーク トラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクスト ホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクスト ホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データ エクスポートに BGP ネクスト ホップ情報が追加されます。	『Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis』
12.2(25)S	NetFlow 入力フィルタ	NetFlow 入力フィルタ機能では、NetFlow で処理するためのフローを選択するフィルタを作成することにより、トラフィックの特定のサブセットに関する NetFlow データが得られます。たとえば、特定のホスト グループからのフローを選択できます。また、この機能では、選択されたフローに対してさまざまなサンプリング レートを選択することもできます。NetFlow 入力フィルタ機能は、たとえば、クラスベースのトラフィック分析や、ネットワーク上またはネットワーク外のトラフィックのモニタに使用します。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(25)S	NetFlow MIB	NetFlow MIB 機能は、フロー キャッシュ情報、現在の NetFlow 設定、および統計情報をモニタできる MIB オブジェクトを提供します。	『Configuring SNMP and using the NetFlow MIB to Monitor NetFlow Data』
12.2(25)S	NetFlow MIB およびトップ トーカー	NetFlow MIB およびトップ トーカー機能は NetFlow 機能を使用して、ネットワーク内で最も重いトラフィック パターンおよび最も使用されるアプリケーションに関する情報を取得します。	『Configuring NetFlow Top Talkers using Cisco IOS CLI Commands or SNMP Commands』
12.2(18)S	NetFlow マルチキャスト サポート	NetFlow マルチキャスト サポート機能の利用により、マルチキャスト フローに関するマルチキャスト固有のデータ (パケットおよびバイト) をキャプチャできます。たとえば、特定のフローおよび各発信ストリームに関するパケットレプリケーションファクタをキャプチャできます。この機能によってネットワーク トラフィックに関する徹底したエンドツーエンド使用情報が提供され、完全なマルチキャスト トラフィック課金ソリューションが実現します。	『Configuring NetFlow Multicast Accounting』
12.2(14)S	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(14)S	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(14)S	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポート データのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポート データの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポート データが要約されます。その結果、NetFlow エクスポート データの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.2(18)S	NetFlow v9 エクスポート フォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコードタイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(18)S	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ処理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SB			
12.2(28)SBB	出力 NetFlow アカウンティング	出力 NetFlow アカウンティング機能では、出力トラフィック (ルータから出るトラフィック) で NetFlow 統計情報を収集できます。旧バージョンの NetFlow では、入力トラフィック (ルータに入るトラフィック) だけで統計情報を収集できました。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(27)SBC	NetFlow BGP ネクストホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダーゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクストホップ単位でネットワーク トラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクストホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクストホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データ エクスポートに BGP ネクストホップ情報が追加されます。	『Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis』
12.2(31)SB2	NetFlow MIB	NetFlow MIB 機能は、フロー キャッシュ情報、現在の NetFlow 設定、および統計情報をモニタできる MIB オブジェクトを提供します。	『Configuring SNMP and using the NetFlow MIB to Monitor NetFlow Data』
12.2(27)SBC	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクスマスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクスマスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスク サイズを設定できます。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.2(27)SBC	NetFlow マルチキャスト サポート	NetFlow マルチキャスト サポート機能の利用により、マルチキャスト フローに関するマルチキャスト固有のデータ (packets およびバイト) をキャプチャできます。たとえば、特定のフローおよび各発信ストリームに関するパケットレプリケーションファクタをキャプチャできます。この機能によってネットワーク トラフィックに関する徹底したエンドツーエンド使用情報が提供され、完全なマルチキャスト トラフィック課金ソリューションが実現します。	『Configuring NetFlow Multicast Accounting』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(27)SBC	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(27)SBC	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(27)SBB	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポート データのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポート データの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポート データが要約されます。その結果、NetFlow エクスポート データの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.2(27)SBC	NetFlow v9 エクスポート フォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコード タイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(28)SB	MPLS 認識 NetFlow	Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) 認識 NetFlow は、NetFlow アカウンティングの拡張機能であり、Cisco ルータに関する非常に細かいトラフィック統計情報を示します。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow と同様に統計情報がフロー単位で収集されます。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow バージョン 9 エクスポート フォーマットが使用されます。	『Configuring MPLS-aware NetFlow』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(27)SBC	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ処理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	「Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track」
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SR			
12.2(33)SRA	出力 NetFlow アカウンティング	出力 NetFlow アカウンティング機能では、出力トラフィック (ルータから出るトラフィック) で NetFlow 統計情報を収集できます。旧バージョンの NetFlow では、入力トラフィック (ルータに入るトラフィック) だけで統計情報を収集できました。	「Configuring NetFlow and NetFlow Data Export」
12.2(33)SRA	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング機能を利用すると、MPLS ラベルのディスポジションが実行されている packets、つまり、MPLS packets としてルータに到着し、IP packets として転送される packets の IP フロー情報をキャプチャすることができます。	「Configuring MPLS Egress NetFlow Accounting and Analysis」
12.2(33)SRB	VRF インターフェイス用 NDE	Virtual Private Network (VPN; 仮想プライベートネットワーク) Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インターフェイス用 NetFlow Data Export (NDE; NetFlow データ エクスポート) 機能では、IPv4 MPLS 仮想プライベートネットワーク (VPN) の最終マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) ホップのルータに入るトラフィックに対し、ハードウェア NetFlow キャッシュ エントリの作成およびエクスポートを実行できます。	「NDE for VRF Interfaces」
12.2(33)SRA	NetFlow BGP ネクストホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダーゲートウェイプロトコル) ネクストホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクストホップ単位でネットワーク トラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクストホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクストホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データ エクスポートに BGP ネクストホップ情報が追加されます。	「Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis」

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(33)SRA	NetFlow 入力フィルタ	NetFlow 入力フィルタ機能では、NetFlow で処理するためのフローを選択するフィルタを作成することにより、トラフィックの特定のサブセットに関する NetFlow データが得られます。たとえば、特定のホストグループからのフローを選択できます。また、この機能では、選択されたフローに対してさまざまなサンプリング レートを選択することもできます。NetFlow 入力フィルタ機能は、たとえば、クラスベースのトラフィック分析や、ネットワーク上またはネットワーク外のトラフィックのモニタに使用します。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』
12.2(33)SRD	NetFlow MIB	NetFlow MIB 機能は、フロー キャッシュ情報、現在の NetFlow 設定、および統計情報をモニタできる MIB オブジェクトを提供します。	『Configuring SNMP and using the NetFlow MIB to Monitor NetFlow Data』
12.2(33)SRA	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクスマスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスク サイズを設定できます。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.2(33)SRA	NetFlow マルチキャストサポート	NetFlow マルチキャスト サポート機能の利用により、マルチキャストフローに関するマルチキャスト固有のデータ (パケットおよびバイト) をキャプチャできます。たとえば、特定のフローおよび各発信ストリームに関するパケットレプリケーションファクタをキャプチャできます。この機能によってネットワークトラフィックに関する徹底したエンドツーエンド使用情報が提供され、完全なマルチキャストトラフィック課金ソリューションが実現します。	『Configuring NetFlow Multicast Accounting』
12.2(33)SRA	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(33)SRA	NetFlow サブインターフェイスサポート	NetFlow サブインターフェイスサポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(33)SRA	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポートデータのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポートデータの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポートデータが要約されます。その結果、NetFlow エクスポートデータの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(33)SRA	NetFlow v9 エクスポートフォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコードタイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.2(33)SRB	NetFlow v9 For IPv6	NetFlow v9 For IPv6 機能は、IPv6 のバージョン 9 エクスポート サポートを追加します。	『 NetFlow v9 For IPv6 』
12.2(33)SRA	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ进行处理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。Packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワークトラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『 Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track 』
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SX			
12.2(18)SXF	出力 NetFlow アカウンティング	出力 NetFlow アカウンティング機能では、出力トラフィック (ルータから出るトラフィック) で NetFlow 統計情報を収集できます。旧バージョンの NetFlow では、入力トラフィック (ルータに入るトラフィック) だけで統計情報を収集できました。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.2(18)SXE	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング機能を利用すると、MPLS ラベルのディスポジションが実行されている packets、つまり、MPLS packets としてルータに到着し、IP packets として転送される packets の IP フロー情報をキャプチャすることができます。	『 Configuring MPLS Egress NetFlow Accounting and Analysis 』
12.2(33)SXI	GRE トンネル インターフェイスでのユニキャストおよびマルチキャスト用 NetFlow アカウンティング	GRE はシスコが開発したトンネリング プロトコルで、さまざまなプロトコル packets タイプを IP トンネル内でカプセル化し、IP インターネットワーク上で Cisco ルータへの仮想ポイントツーポイントリンクを作成します。この機能は、GRE トンネル上の IP v4 ユニキャストおよびマルチキャストフロー用の NetFlow アカウンティングを提供します。トンネル インターフェイスから出入りする packets 用のアカウンティングを提供します。	『 Configuring Netflow Accounting for Unicast and Multicast on GRE Tunnel Interfaces 』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(18)SXF	NetFlow BGP ネクストホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダークロウエイ プロトコル) ネクストホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクストホップ単位でネットワークトラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクストホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクストホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データエクスポートに BGP ネクストホップ情報が追加されます。	『Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis』
12.2SX ¹	NetFlow 入力フィルタ	NetFlow 入力フィルタ機能では、NetFlow で処理するためのフローを選択するフィルタを作成することにより、トラフィックの特定のサブセットに関する NetFlow データが得られます。たとえば、特定のホストグループからのフローを選択できます。また、この機能では、選択されたフローに対してさまざまなサンプリング レートを選択することもできます。NetFlow 入力フィルタ機能は、たとえば、クラスベースのトラフィック分析や、ネットワーク上またはネットワーク外のトラフィックのモニタに使用します。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』
12.2SX ¹	NetFlow MIB およびトップ トーカー	NetFlow MIB およびトップ トーカー機能は NetFlow 機能を使用して、ネットワーク内で最も重いトラフィック パターンおよび最も使用されるアプリケーションに関する情報を取得します。	『Configuring NetFlow Top Talkers using Cisco IOS CLI Commands or SNMP Commands』
12.2(18)SXF	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスク サイズを設定できます。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.2(18)SXF	NetFlow マルチキャスト サポート	NetFlow マルチキャスト サポート機能の利用により、マルチキャストフローに関するマルチキャスト固有のデータ (パケットおよびバイト) をキャプチャできます。たとえば、特定のフローおよび各発信ストリームに関するパケットレプリケーションファクタをキャプチャできます。この機能によってネットワークトラフィックに関する徹底したエンドツーエンド使用情報が提供され、完全なマルチキャストトラフィック課金ソリューションが実現します。	『Configuring NetFlow Multicast Accounting』
12.2(18)SXE	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.2(33)SXH	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(18)SXF	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポート データのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポート データの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポート データが要約されます。その結果、NetFlow エクスポート データの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』
12.2(18)SXF	NetFlow v9 エクスポート フォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコード タイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.2(33)SXH	NetFlow v9 For IPv6	NetFlow v9 For IPv6 機能は、IPv6 のバージョン 9 エクスポート サポートを追加します。	『 NetFlow v9 For IPv6 』
12.2(18)SXF	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ処理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『 Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track 』
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2T、12.3、12.3T、12.4、12.4T、および 15.0M			
12.3(11)T	出力 NetFlow アカウンティング	出力 NetFlow アカウンティング機能では、出力トラフィック (ルータから出るトラフィック) で NetFlow 統計情報を収集できます。旧バージョンの NetFlow では、入力トラフィック (ルータに入るトラフィック) だけで統計情報を収集できました。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.3(8)T	MPLS 認識 NetFlow	Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) 認識 NetFlow は、NetFlow アカウンティングの拡張機能であり、Cisco ルータに関する非常に細かいトラフィック統計情報を示します。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow と同様に統計情報がフロー単位で収集されます。MPLS 認識 NetFlow では、NetFlow バージョン 9 エクスポート フォーマットが使用されます。	『Configuring MPLS-aware NetFlow』
12.3(11)T	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング	MPLS 出力 NetFlow アカウンティング機能を利用すると、MPLS ラベルのディスポジションが実行されているパケット、つまり、MPLS パケットとしてルータに到着し、IP パケットとして転送されるパケットの IP フロー情報をキャプチャすることができます。	『Configuring MPLS Egress NetFlow Accounting and Analysis』
12.3(1)	NetFlow BGP ネクストホップ サポート	NetFlow Border Gateway Protocol (BGP; ボーダーゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ サポート機能を使用すると、BGP ネクストホップ単位でネットワークトラフィックを測定できます。NetFlow BGP ネクストホップ サポート機能を使用しない場合、NetFlow では (次のルータだけのデータを示す) IP ネクストホップ情報だけがエクスポートされます。この機能を使用すると、データエクスポートに BGP ネクストホップ情報が追加されます。	『Configuring NetFlow BGP Next Hop Support for Accounting and Analysis』
12.4(4)T	NetFlow ダイナミック トップ トーカー CLI	NetFlow ダイナミック トップ トーカー CLI 機能では、共通フィールドでフローを集約することによって、ネットワーク内で最高量のトラフィックの概要を確認できます。たとえば、宛先プレフィックスでフローを集約することにより、宛先ネットワークに関してすべてのフローを集約できます。	『Detecting and Analyzing Network Threats With NetFlow』
12.3(4)T	NetFlow 入力フィルタ	NetFlow 入力フィルタ機能では、NetFlow で処理するためのフローを選択するフィルタを作成することにより、トラフィックの特定のサブセットに関する NetFlow データが得られます。たとえば、特定のホストグループからのフローを選択できます。また、この機能では、選択されたフローに対してさまざまなサンプリング レートを選択することもできます。NetFlow 入力フィルタ機能は、たとえば、クラスベースのトラフィック分析や、ネットワーク上またはネットワーク外のトラフィックのモニタに使用します。	『Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.3(14)T	NetFlow レイヤ 2 およびセキュリティ モニタリング エクスポート	NetFlow レイヤ 2 およびセキュリティ モニタリング エクスポート機能は、レイヤ 3 IP トラフィックおよびレイヤ 2 LAN トラフィックの複数のフィールドから値をキャプチャして、ネットワーク トラフィックの分類および識別に使用できる情報を取得する NetFlow 機能を追加します。この情報は、ネットワーク 攻撃およびその攻撃元の識別に役立てることができます。	『NetFlow Layer 2 and Security Monitoring Exports』
12.3(7)T	NetFlow MIB	NetFlow MIB 機能は、フロー キャッシュ情報、現在の NetFlow 設定、および統計情報をモニタできる MIB オブジェクトを提供します。	『Configuring SNMP and using the NetFlow MIB to Monitor NetFlow Data』
12.3(11)T	NetFlow MIB およびトップ トーカー	NetFlow MIB およびトップ トーカー機能は NetFlow 機能を使用して、ネットワーク内で最も重いトラフィック パターンおよび最も使用されるアプリケーションに関する情報を取得します。	『Configuring NetFlow Top Talkers using Cisco IOS CLI Commands or SNMP Commands』
12.1(2)T	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスク サイズを設定できます。	『Configuring NetFlow Aggregation Caches』
12.3(1)	NetFlow マルチキャスト サポート	NetFlow マルチキャスト サポート機能の利用により、マルチキャスト フローに関するマルチキャスト 固有のデータ (パケットおよびバイト) をキャプチャできます。たとえば、特定のフローおよび各発信ストリームに関するパケットレプリケーション ファクタをキャプチャできます。この機能によって ネットワーク トラフィックに関する徹底したエンド ツーエンド使用情報が提供され、完全なマルチキャスト トラフィック課金ソリューションが実現します。	『Configuring NetFlow Multicast Accounting』
12.2(2)T	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』
12.4(4)T	NetFlow の SCTP を使用した信頼性のあるエクスポート	NetFlow の SCTP を使用した信頼性のあるエクスポート機能により、UDP (この機能が導入される前の唯一のトランスポート オプション) よりも堅牢で柔軟な方法が NetFlow データをコレクタへエクスポートするために提供されます。	『NetFlow Reliable Export with SCTP』
12.2(15)T	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『Configuring NetFlow and NetFlow Data Export』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.2(4)T	NetFlow ToS ベース ルータ集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポート データのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポート データの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポート データが要約されます。その結果、NetFlow エクスポート データの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』
12.3(1)	NetFlow v9 エクスポート フォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコード タイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクスト ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
12.3(2)T	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ进行处理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。Packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『 Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track 』
12.4(2)T	NetFlow レイヤ 2 およびセキュリティ モニタリング エクスポートに追加される IP ヘッダーのフラグメント オフセット フィールドからの値のキャプチャのサポート ²	NetFlow レイヤ 2 およびセキュリティ モニタリング エクスポート機能により、アカウントリングおよびセキュリティ分析用の IP トラフィックのレイヤ 3 およびレイヤ 2 のフィールドからの値のキャプチャをイネーブルにします。	『 Detecting and Analyzing Network Threats With NetFlow 』
Cisco IOS XE ソフトウェア Release			
2.1	出力 NetFlow アカウンティング	出力 NetFlow アカウンティング機能では、出力トラフィック (ルータから出るトラフィック) で NetFlow 統計情報を収集できます。旧バージョンの NetFlow では、入力トラフィック (ルータに入るトラフィック) だけで統計情報を収集できました。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
2.1	NetFlow 集約	NetFlow ToS ベース ルータ集約機能を使用すると、NetFlow エクスポート データのルータベースの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) 集約を制限できます。エクスポート データの集約により、収集装置にエクスポート可能な NetFlow エクスポート データが要約されます。その結果、NetFlow エクスポート データの帯域幅要件が減少し、NetFlow データ収集装置のプラットフォーム要件も減少します。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』
2.1	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク	NetFlow ルータベース集約の最小プレフィクス マスク機能を使用すると、プレフィクス集約方式、宛先プレフィクス集約方式、および送信元プレフィクス集約方式に最小のマスク サイズを設定できます。	『 Configuring NetFlow Aggregation Caches 』
2.1	NetFlow 複数エクスポート先	NetFlow 複数エクスポート先機能の使用により、NetFlow データに複数の宛先を設定できます。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
2.1	NetFlow サブインターフェイス サポート	NetFlow サブインターフェイス サポート機能は、サブインターフェイス単位での NetFlow のイネーブル化を可能にします。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
2.1	NetFlow v9 エクスポートフォーマット	NetFlow バージョン 9 は、新規のフィールドおよびレコードタイプのサポートに必要な汎用性を提供する、柔軟で拡張可能なフォーマットです。このフォーマットは、マルチキャスト、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、および Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネット ホップなど、NetFlow をサポートする新しいテクノロジーに対応します。NetFlow バージョン 9 フォーマットの際立った特徴は、テンプレート ベースであることです。	『 Configuring NetFlow and NetFlow Data Export 』
2.1	ランダム サンプル NetFlow	ランダム サンプル NetFlow では、連続した n 個の packets (n はユーザが設定可能なパラメータ) ごとにランダムに選択される 1 個の packets だけ进行处理することにより、Cisco ルータ内のトラフィックのサブセットに関する NetFlow データが得られます。packets は、到着時にサンプリングされます (これらの packets に対して NetFlow キャッシュ エントリが作成される前)。統計的なトラフィックのサンプリングによって、価値のある NetFlow データが得られるとともに、ルータ リソースの消費が大幅に削減されます (特に CPU リソース)。ランダム サンプル NetFlow の主な用途は、トラフィック エンジニアリング、容量プランニング、およびフル NetFlow でなくてもネットワーク トラフィックの正確なビューが得られるアプリケーションです。	『 Using NetFlow Filtering or Sampling to Select the Network Traffic to Track 』

表 1 サポートされる Cisco IOS NetFlow 機能 (続き)

リリース	機能名	機能の説明	参照先
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2ZY			
12.2(18)ZYA2	アプリケーション認識 NetFlow	アプリケーション認識 NetFlow では、PISA の Network-Based Application Recognition (NBAR) で収集されたアプリケーション情報のキャプチャおよび NetFlow バージョン 9 を使用したエクスポートを実行できます。	「NetFlow Layer 2 and Security Monitoring Exports」
Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2SY			
12.2(50)SY		NetFlow は 12.2SY ではサポートされていません。既存の NetFlow コマンドは Flexible NetFlow コマンドに自動的に変換されます。詳細については、『 Cisco IOS Flexible NetFlow Configuration Guide, 12.2SY 』を参照してください。	

- この機能は、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
- これはマイナーな拡張です。マイナーな拡張は、通常 Feature Navigator に記載されません。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Copyright © 2006–2011 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2006–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.